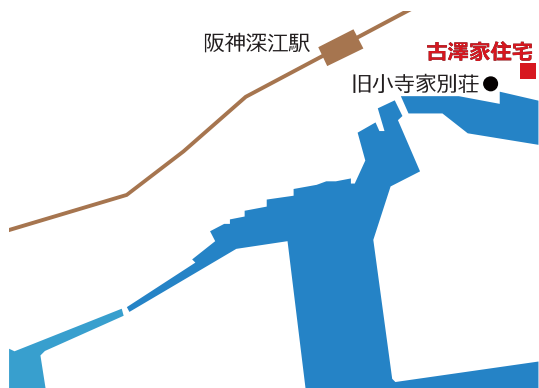


14 古澤家住宅



設計：ラディンスキー（L.N.Ladyjensky）

施工：不詳

竣工：大正14年（1925）

構造：主屋 木造2階建洋小屋組

附属屋 木造平屋建

所在地：東灘区深江南町1丁目



大正末期に開発された通称「深江文化村」と呼ばれる小住宅地に建つ洋風住宅です。

建築家ラディンスキーの設計により、13棟建てられた深江文化村住宅の中で、最も凝った意匠で、複雑な平面形に対し急勾配のスレート屋根をかけ、大小の切妻破風を置き、独特なデザインにまとめ上げています。また、壁面には多くの大型窓を配して明るく変化のある外観が特色となっており、関西における近代住宅史を語る上で貴重な作品です。主屋の西に近接して建つ附属屋は小規模な妻入りで、急峻で複雑な形態の主屋に対して、単純な矩形の平面とし緩やかな切妻屋根をかける対照的な構えになっています。

